

いかなる困難の中にも好機を見いだす

アフマド・ビン・スライエム DMCC 会長兼 CEO

ドバイ・マルチ・コモディティ・センター (DMCC) がアラブ首長国連邦の最初の金貨を発行してから約 8 年が経過しました。この金貨の表面にはハリファ・ビン・ザイド・アール・ナヒヤーン大統領の肖像、裏面には当時完成したばかりの我が国の野心の証しである世界一の高層ビル「ブルジュ・ハリファ」が彫られています。ブルジュ・ハリファは、今日では最も有名な我が国のシンボルのひとつです。

DMCC はさらに 2 枚目の金貨として、表面にはムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム副大統領 (アラブ首長国連邦首相かつドバイ首長でもあります) の肖像画、裏面には同様に我が国のシンボルであるパーム・ジュメイラ島が彫られたコインを発行しました。この 2 枚の金貨は、ドバイの洞察力あるリーダーシップおよび世界有数の金取引ハブとしての地位達成を記念してデザイン・発行されたもので、ドバイ認定金地金 (Dubai Good Delivery - DGD) の認定精製所であるスイスのアルゴロ・ヘレウス社 (Argor-Heraeus) により鑄造され、純度 99.99% (24 カラット) の認定を受けています。私は、DMCC の会長として、当センターの発展において金が果たした重要な役割、さらには、ドバイが金取引のグローバルセンターとなるまでご支援をいただいた皆様に対する深い感謝の気持ちを伝えずには、当センターの歴史を語るできません。

私たちは現在、世界的な危機に直面しており、皆で団結して立ち向かわなくてはなりません。しかし、どのような困難においても好機を見出すことは可能です。過去 2500 年間、金は貴重な鉱物として考えられていました。ごく最近になってからは、企業にとって景気変動における戦略的な投資にもなってきました。また、個人消費者による金の投資としては金装飾品が長らく一般的でしたが、近年になって金貨も注目されるようになり、1967 年には南アフリカのクルーガーランド金貨が発行されています。

南アフリカに続いて自国特有の金貨を発行する国が次々と出てきました。それぞれの純度や重さは異なりますが、そのどれもが深刻な市況変動における投資やリスク回避の機会を提供するようになりました。各国の通貨は共通のシンボルで統一され、我が国のブルジュ・ハリファやパーム・ジュメイラ島のように、中国では金のパンダ、オーストリアではウィーン・フィルハーモニー、カナダではカエデの葉といったように、国の象徴となる絵が彫り込まれています。こうした金貨により、国民は投資機会を与えられ、分散した投資を行うと同時に自国を支援できるようになりました。

アラブ首長国連邦の全ての住民が首長国人であるとは限りません。故郷と思えるくらい長く我が国に住んでいる外国人居住者もいるでしょう。しかし、私は、あらゆる国籍や宗教の人々が調和して住むことのできる国境なき社会を目指す者同士、この危機に対して皆で団結することができますと確信しています。そして、ムハンマド・ビン・ザイド・アール・ナヒヤーン・アブダビ皇太子 (UAE 軍副最高司令官でもあります) がパンデミック初期段階で公表した言葉をここで繰り返したいと思います。「我々は、そして私個人も、UAE に住む人々がここを 2 番目の故郷と感じられるように願っています」

現在、先行き不透明な状況となっておりますが、UAE 金貨は、この不確実性の高い時期において、苦勞して得た財産を守るための投資手段となるものです。さらに私は、個人投資家がこれまで以上に安全かつ容易に UAE 金貨を保有することができるようするため、我が国の国立銀行に対策を講じるよう要請しています。

今年はこのコロナ危機のために、イード・アル＝フィトル(断食月明け大祭)の日に宮殿を訪問し、ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム副大統領にご挨拶するという習慣を初めて破ることになりました。代わりに、今晚行われるブルジュ・ハリファのプロジェクトン・イベントが、この困難な時期における UAE 政府の迅速な対応、包括的な支援、そして洞察力あるリーダーシップに対する感謝の念を象徴するものとして受けとめられることを願っています。

最後に、私は DMCC を代表して、皆さんに「イード・ムバラク(ラマダン明けおめでとうございます)」をお伝えし、皆さんがステイホーム、ステイセーフを行うようお願いしたいと思います。

www.dmcc.ae